

桜島と諏訪之瀬島の

大噴火と火山災害

入場
無料

事前申込
不要

鹿児島県では、桜島と諏訪之瀬島の2つの火山が、現在もっとも活発に火山活動が続いています。しかし100～200年ほど前には、現在よりもはるかに大規模な噴火が発生しました。桜島ではちょうど100年前の大正噴火、諏訪之瀬島ではほぼ200年前の文化噴火です。この両火山については、長年の調査・研究成果をもとに、2013年に火山地質図が公表されました。講師は九州地域の火山の研究を長年続けており、この2つの火山地質図の作成にも関与しています。今回は桜島と諏訪之瀬島という2つの火山で、100年前と200年前に発生した大噴火に焦点をあて、噴火の推移と災害の実態について、平易かつ詳しく解説します。あわせて、鹿児島における火山災害軽減への取り組みについても紹介します。

2014. 9. 13 (土)

時間：14:30～16:00（開場 14:00）

会場：鹿児島大学郡元キャンパス

共通教育棟 1 号館 111 教室



講師：小林哲夫 氏

（鹿児島大学大学院理工学研究科・教授）

◆講師プロフィール◆

1950年長野県生まれ。
1977年に鹿児島大学助手。以降、火山地質学的研究に従事。南九州の火山を中心に研究。国内だけでなく、ニュージーランド、インドネシア、フィリピン等海外の火山も研究対象とする。また大規模なカルデラ噴火予知の研究にも取り組んでいる。

前 日本地質学会西日本支部長。

※本講演会は、平成26年科学研究費補助金研究成果公開促進費補助事業です。



日本地質学会第121年学術大会（鹿児島大会）

わがこっじゃっど、地質学

2014年9月13日（土）～15日（月・祝） 会場：鹿児島大学郡元キャンパスほか

<http://www.geosociety.jp>